



佐野厚生農業協同組合連合会

地域医療支援病院 佐野厚生総合病院 地域医療連携室たより



病院長 村上 円人

連携医療機関の皆様へ

師走に入り、香港A型インフルエンザ（H3N2）の変異株であるサブクレードKが流行し、あわただしい毎日が続いております。

7月に開催された両毛地域医療構想調整会議にて、当院は21病床の削減が承認されました。総病床数を531床から510床に変更いたしました。さらに、7月から休床中の病棟を回復期リハビリテーション病棟として開棟し、地域医療構想の病床機能分化を進め、地域完結型医療の実現へ邁進しております。

9月には病院機能評価を受審いたしました。5年前の前回受審後、職員一同、診療体制、管理体制のプラッシャアップを進めてまいりました。11月に一発合格の通知があり、尽力いただいた全職員に心より感謝と敬意を表したいと思います。

10月4日、令和7年度佐野市総合防災訓練がイオンモール佐野新都市・佐野日本大学短期大学・グランディ新都市セントラルパークで開催されました。自衛隊、警察隊、消防隊、佐野市議会議員、町内会班長、そして当院DMATなどおよそ100名が参加し、大規模な訓練となりました。当院は災害拠点病院として、佐野の災害対策に引き続き尽力してまいります

11月には、佐野医師会において『休日・緊急診療所』の50周年の催しがあり、当院職員も参加いたしました。2017年度には、その年間利用者数は9,156人でしたが、2023年度には11,282人と1万人を超えて、大きく実績が向上しております。これはまさに賞賛に値する快挙であり、佐野市医師会長をはじめ、医師会関係者の皆様のご尽力に心より敬意を表したいと思います。当院は佐野市で唯一の二次救急輪番病院として、2023年度、2024年度と2年連続で救急車受け入れ件数が過去最多を更新しており、2025年度は4,000件を越える勢いです。今後も佐野市医師会と円滑かつ実効性ある連携の構築を進めてまいります。

今後とも、地域医療の発展・向上のため、連携のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【対応時間】

| 月曜～金曜 | 8：30～17：00 | 0283-22-5233 (直通) |
|--------|-------------|-------------------|
| | 17：00～19：00 | 0283-22-5222 (代表) |
| 第2・4土曜 | 8：30～12：45 | 0283-22-5233 (直通) |

地域医療連携室

担当：金子・机・山下・北本・大塚

FAX 0283-22-8982 E-mail: renkei@jasanoko.or.jp <http://jasanoko.or.jp/link-up.html>

➤ 上記以外は救急センター対応

0283-22-5222 (病院代表)

佐野市総合防災訓練にDMATが参加しました！！

2025年10月4日（土）イオンモール佐野新都市・佐野日本大学短期大学・グランディ新都市セントラルパークで行われました『令和7年度佐野市総合防災訓練』に当院D M A Tが参加しました。



【訓練想定】栃木県南部で発生した直下型の地震により佐野市で最大震度6強を観測。家屋の倒壊や土砂災害等による多数の負傷者が発生。



「へき地医療拠点病院」指定から1年～野上診療所 雜感～

当院のへき地医療拠点病院としての取り組みの一環として、当院勤務の有志ドクターによる野上診療所・常盤診療所での診療が昨年度より始まっています。診療所の管理・運営のために当院から医師を派遣するということで、月曜日東澤医師・火曜日清水医師（常盤診療所）・木曜日田村医師もしくは諏訪医師・金曜日野村医師もしくは福田医師と日替わりで担当している状況です。日頃当院で各科の専門診療に従事する先生方が、日頃の専門診療に特化することなく、保健・福祉・介護の領域も包括して地域に向けた幅広いケアを提供できるよう努めています。私以外の派遣医師は、若手から中堅の医師でもあり、院内では経験できない地域での幅広い診療・ケアの実践や研修の場として貴重な経験を得ることができます。

最近のICTやAIなどの進歩で、へき地・過疎地には遠隔診療システムを導入する機運もありますが、ある意味昔ながらの「人材」を送り出して診療を行うことで診療所のサービスとし人間味のある医療が提供できているのかと考えています。人口減少などの影響もあり、診療実績としては大きなものではないですが、引き続き診療・運営に協力していくべきと考えています。

佐野厚生総合病院 訪問診療科・野上診療所所長 東澤 俊彦



東澤Dr. 清水Dr. 田村Dr. 福田Dr.

講演会開催のお知らせ

《今後の予定》 下記の講演会を予定しております。たくさんのご参加お待ちしております。

【Meet the Professor Seminar】

2026.1.28（水） 慶應義塾大学医学部 副学部長・医学教育統轄センター 門川 俊明 教授
2026.2.13（金） 慶應義塾大学医学部 副学部長・腎臓内分泌代謝内科 林 香 教授

耳鼻咽喉・頭頸部外科 完全紹介制導入のお知らせ

このたび耳鼻咽喉・頭頸部外科では、地域の医療機関との連携をより強化し、持続可能な診療体制を維持することを目的として、2026年1月15日より『完全紹介制』へ移行することいたしました。

原則として紹介状をお持ちの方のみの受け入れとさせていただきます。

地域の先生方にはご不便をお掛けいたしますが、継続的で安全な医療提供のため、何卒ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。

開始日:2026年1月15日(木)より『完全紹介制』

※医療機関からであれば、予約取得も可能です。地域医療連携室までご連絡ください。
患者様からの予約は受け付けておりませんので、ご案内の際はお間違えのないようお願ひいたします。

慶應義塾大学病院長 福永興壹教授講演会開催

10月9日に当院で開催された講演会【Meet the Professor】に 慶應義塾大学病院長 呼吸器内科福永興壹教授が登壇なさいました。

『喘息治療～現在とこれから～』をテーマに豊富な研究実績や臨床経験に基づいた興味ある知見について、明解にご講演いただき、50名を超える大盛会となりました。



腎臓内科 熊谷光祐先生が優秀演題賞受賞！！

10月11日に開催された第48回栃木県透析医学会において、透析センターから熊谷Dr、中里Ns、高崎CEが3演題を発表いたしました。

熊谷Drの『加速型－悪性高血圧症の精査中に混合性結合組織病を診断し選択的血漿交換療法を施行した一例』が優秀演題賞を受賞いたしました。講演の発表も堂々としており、質疑応答の対応も素晴らしかったです。

エネルギー溢れる透析センタースタッフの今後の益々の活躍を期待しております。



連携登録医療機関数

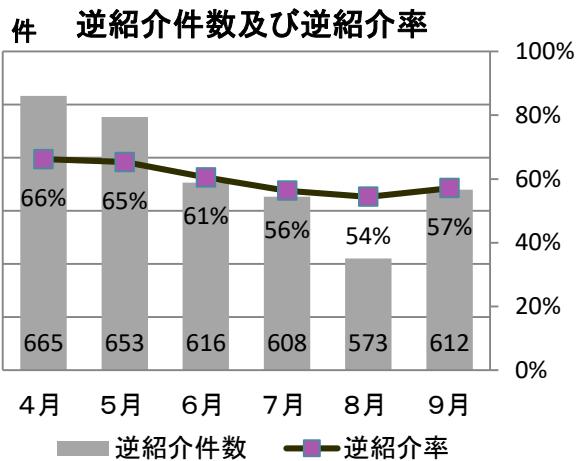
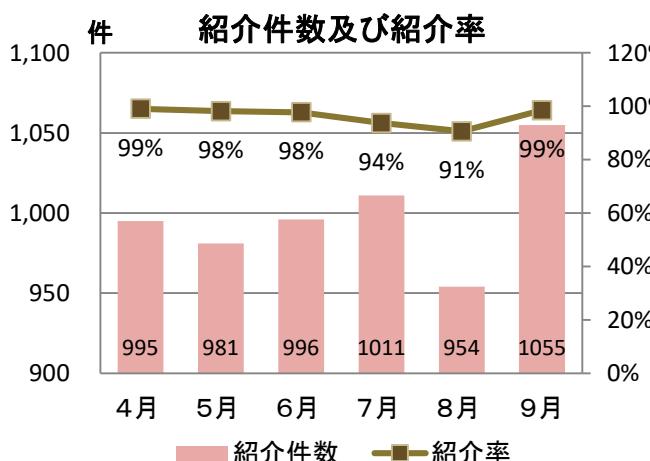
| 医療機関数 | | 歯科医療機関数 | |
|---------------|-----|---------|----|
| 佐野地区 | 73 | 佐野地区 | 55 |
| 足利地区 | 43 | 足利地区 | 24 |
| 栃木・小山地区 | 34 | 栃木地区 | 1 |
| 館林・邑楽地区 | 46 | 館林・邑楽地区 | — |
| 太田 | 7 | 太田 | — |
| その他 | 1 | | |
| 合計 | 202 | 合計 | 80 |
| 2025年11月30日現在 | | 284施設 | |

T連携・登録医療機関数

| 医療数 | |
|-------------|---|
| 館林・邑楽地区 | 3 |
| 足利市 | 4 |
| 栃木市 | 1 |
| 小山市・下都賀郡野木町 | 2 |
| 太田市 | 1 |

2025年11月30日現在 11 施設

2025年度 月別紹介・逆紹介率



初診患者数



地域医療連携室から一言

いつも大変お世話になっております。相変わらず、子供の応援とサポート活動に大忙し、サッカー漬けのK・Yです。最近の悩みは、低学年から続いているサッカーを娘がやめたいと言いだしたことです。親としては寂しくもあり、引きとめてはみたものの、やる気のない姿を見てしまうとイライラしてしまいます。なかなか親の思うとおりには育ってくれないものですね。

季節の変わり目、体調も気持ちも変わりやすいですが、皆様もお気を付けてお過ごしください。